

2023年度  
動物実験に関する自己点検・評価報告書

2024年7月

公益財団法人 がん研究会

## I. 規程及び体制等の整備状況

## 1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「公益財団法人がん研究会動物実験等取扱規程」、動物実験管理体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 環境省の飼養保管基準と文部科学省の基本指針に則した規程が定められている。改訂版では、機関長（理事長）の下での研究本部長の役割が規定され、その組織管理体制図が作成されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当事項なし

## 2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「公益財団法人がん研究会動物実験等取扱規程」、「動物実験委員会規程」、動物実験管理体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程とは別個に「動物実験委員会規程」を策定し、委員会の役割と運営、委員の構成が明確に規定されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当事項なし。

## 3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
--

<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「公益財団法人がん研究会動物実験等取扱規程」、「財団法人癌研究会組換え実験安全規定」、動物実験計画書記入要領、動物実験計画書様式、倫理基準表、遺伝子組換え実験承認申請書様式、動物実験室設置承認申請書様式、動物実験外部委託要領、動物実験委員会—危険物・毒物取り扱いガイドライン、動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 取扱規程に則り、動物実験計画の申請、審査、承認、結果報告の実施体制が定められ、それに必要な各種申請書等も整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当事項なし。

#### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「財団法人癌研究会組換え実験安全規定」、遺伝子組換え実験承認申請書様式、動物実験計画書様式、動物実験室設置承認申請書、遺伝子組換え実験及び動物実験講習会（e-learning 講習）資料、「動物室使用マニュアル」、「飼養保管マニュアル」、動物実験委員会—危険物・毒物取り扱いガイドライン、向精神薬試験研究施設設置者登録証
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換え動物実験や微生物感染の可能性のある動物等の取扱い、さらに、発がん物質等危険物の使用など、安全管理上、注意を要する動物実験の申請手続きとそれらに対応する飼養施設の整備がなされている。実験従事者に対する教育訓練の体制も整っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当事項なし。

#### 5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果
---------

<p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「公益財団法人がん研究会動物実験等取扱規程」、「動物室使用マニュアル」、 「飼養保管マニュアル」、動物実験室設置承認申請書、施設等廃止届、飼育室担当者名簿、 飼育室飼育月報、飼育環境月報</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験施設各飼育室飼養担当者は、各飼育室の飼養状況を飼育月報として提出し、施設の 温湿度・室圧に関する飼育環境月報と合わせて、適正な飼養保管環境を維持管理する体制が 整っている。動物実験施設外の各研究部内の動物実験室については、その設置申請書の提出 を受けて、動物実験委員会の立入審査による確認と承認がなされている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当事項なし。</p>
<p>6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）</p> <p>特になし。</p>

## II. 実施状況

## 1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「公益財団法人がん研究会動物実験等取扱規程」、「動物実験委員会規程」、動物実験計画書、遺伝子組み換え実験承認申請書、倫理基準表、動物実験室設置承認申請書、動物実験委員会一危険物・毒物取り扱いガイドライン、動物実験委員会議事録、動物実験結果報告書、動物実験自己点検票、実験動物飼養保管状況の自己点検票、</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験委員会は、規程に基づき以下の事項について審議し、研究本部長に答申を行い、承認を得ている。</p> <p>(1) 動物実験計画が指針等および本規程に適合していること。</p> <p>(2) 動物実験計画の実施状況及び結果に関すること。</p> <p>(3) その他、動物実験等の適正な実施のための必要な事項</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

## 2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「公益財団法人がん研究会動物実験等取扱規程」、動物実験計画書、動物実験室設置承認申請書、遺伝子組み換え実験承認申請書、倫理基準表、動物実験結果報告書、動物実験自己点検票、動物実験委員会一危険物・毒物取り扱いガイドライン、実験動物飼養保管状況の自己点検票、</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験責任者は、承認された実験計画書に従い、適正な動物実験を実施している。その後、年度末には、各動物実験責任者から、動物実験結果報告書と動物実験自己点検票が提出され、</p>

実験動物管理者による実験動物飼養保管状況の自己点検票が作成されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当事項なし。

## 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「公益財団法人がん研究会動物実験等取扱規程」、動物実験計画書、 動物実験室設置承認申請書、「財団法人癌研究会遺伝子組換え実験安全規程」、 「動物室使用マニュアル」、「飼養保管マニュアル」、実験動物搬入・搬出届、 微生物定期モニタリング、動物実験委員会—危険物・毒物取り扱いガイドライン、 動物実験結果報告書、動物実験自己点検票、実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 「動物室使用マニュアル」と「飼養保管マニュアル」、「危険物・毒物取り扱いガイドライン」 に従って、動物実験は安全管理上問題なく実施されている。さらに、感染症対策としての実 験動物搬入時の微生物検査と飼育室の微生物定期モニタリングも適正に行われて、感染事故 は発生していない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当事項なし。

## 4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物室使用マニュアル」、「飼養保管マニュアル」、「危険物・毒物取り扱いガイドライン」、 定期微生物モニタリング、飼育室飼育月報、飼育環境月報、実験動物飼養保管状況の 自己点検票、動物実験自己点検票、飼育室入退室予定表

<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験施設の管理と動物の飼養保管は、「動物室使用マニュアル」と「飼養保管マニュアル」に基づいて適正に実施され、動物実験自己点検票と実験動物飼養保管状況の自己点検票による確認も行われている。毎日の飼養保管状況は、実験動物管理者による飼育室の入退室予定表の管理と、各飼育室飼養担当者による、飼育月報の実験動物管理者への提出と飼育環境月報の報告によって適切に把握されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当事項なし。</p>

## 5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「動物室使用マニュアル」、「飼養保管マニュアル」、定期微生物モニタリング、飼育環境月報、動物室空調機等定期点検報告書、動物室オートクレーブ法定点検報告書、飼育室入退室予定表、実験動物飼養保管状況の自己点検票</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>施設の空調機設備は、年2回の定期点検により良好な状態に維持管理されている。その他のオートクレーブ等の設備点検と消防設備点検も定期的に行なわれている。施設共有エリアの清掃消毒等の衛生管理は、専任の業務委託社員により行われている。停電や火災等に対応した、実験従事者の緊急時対応策も「飼養保管マニュアル」に講じられている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>次年度から、動物実験委員会による飼養保管施設へ立入視察を実施する体制整備に向けて検討を進めている。</p>

## 6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p>
---

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物室使用マニュアル」、「飼養保管マニュアル」 遺伝子組換え実験及び動物実験講習会受講者記録 遺伝子組換え実験及び動物実験講習会 (e-learning 講習) 資料 実験動物管理者の教育訓練修了証
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験責任者および実験実施者には、動物実験講習会の受講が実験実施の必須要件であり今年度も e-learning 講習によって、動物実験実施者全員への講習を行った。 さらに、実験動物管理者の教育訓練 (講習会参加) も行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当事項なし。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験結果報告書、動物実験自己点検票、実験動物飼養保管状況の自己点検票 動物実験委員会議事録、動物実験講習会受講者記録、自己点検・評価事項チェック票、 動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物委員会による点検と評価は、基本指針に則り適正に行なわれた。 ホームページには、「公益財団法人がん研究会動物実験等取扱規程」と「動物実験に関する自己点検・評価報告書」、「実験動物の飼養保管状況とその他」を公開している。「実験動物の飼養保管状況とその他」については、「自己点検・評価報告書」の後半に、「マウス年間使用数」、「マウス飼養数」、「動物実験計画承認件数」、「動物実験講習会実績」、「動物実験委員会の構成」の情報を掲載している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当事項なし。

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

該当なし。

## 「実験動物の飼養保管状況とその他」

2023 年度(2023 年 6 月～2024 年 5 月)

## 2023 年度マウス年間使用数

(単位：匹)

部署名	マウス年間使用数	備 考
細胞生物部	2,618	NSGマウス 102 匹 C57BL/6JJc1マウス 600 匹 MCH(ICR)/Jc1マウス 1,059 匹 C57BL/6NJc1マウス 116 匹 129+Ter/SvJc1マウス 71 匹 129 S2/SvPas マウス 70 匹 Jc1:ICR マウス 100 匹 遺伝子組換えマウス 500 匹
がん生物部	136	C57BL/6J 0 匹 NOD-SCID 10 匹 SCID-Beige 16 匹 NSG 0 匹 Balb/c-nu/nu 112 匹 Cr1j:CD1-Foxn1nu 0 匹
発がん研究部	529	C57BL/6 255 匹 Ly6d-EGFP 25 匹 FAP-tdTomato 24 匹 Trap63-DreERT2 10 匹 Rosa26-RSR-tdTomato- 2A-DTR 20 匹 BALB/c 15 匹 NOG 10 匹 BRJ 10 匹 SCID 30 匹 Ptfla-CreERT2 30 匹 KRAS <sup>G12D</sup> 20 匹 SOX9-CreERT2 10 匹 p53 <sup>R172H</sup> 10 匹 Nestin-CreERT2 20 匹 Cspg4-CreERTM 30 匹 R26R-H2B-EGFP 10 匹
細胞老化研究部	380	ICR 0 匹 BALB/c 0 匹 C57BL6 270 匹 BALB-/c nu/nu 80 匹

部署名	マウス年間使用数	備 考
		NOD-SCID 0 匹 NSG 0 匹
がんエピゲノムプロジェクト	304	BALB/c AJcl-nu/nu 190 匹 NSG 114 匹
がんゲノム研究部	923	ICR-nu+マウス 5 匹 NSG マウス 348 匹 NOD-SCID マウス 570 匹
基礎研究部	1, 121	C57BL/6N 596 匹 BALB/c 23 匹 BALB/c-nu 268 匹 NOD-SCID 71 匹 SCID beige 161 匹 NSG 2 匹
分子薬理部	950	BALB/cJ 139 匹 BALB/cAJcl 79 匹 BALB/c-nu/nu 689 匹 SHO 43 匹
分子生物治療研究部	646	BALB/c-nu 325 匹 BALB/c 52 匹 B6J 221 匹 ICR 0 匹 NOD SCID 48 匹 C. B-17 SCID 0 匹 NSG 0 匹 DBA/2 0 匹 FVB/NJcl 0 匹
ゲノム研究部	240	BALB/c nude 120 匹 SCID Beige 30 匹 BALB/c 60 匹 SHO 30 匹
臨床部	562	Podoplanin 改変マウス 550 匹 C57BL/6 8 匹 C57BL/6NJ 4 匹
合 計	8, 409	

動物実験施設マウス飼養数： 3619 匹 (2024年5月31日時点)

動物実験計画承認数： 10件

動物実験講習会受講実績

受講方式： e-learning

受講者数： 195名

動物実験委員会 委員：7名

委員の構成：

動物実験等に優れた識見を有する者 2名

実験動物に優れた識見を有する者 2名

その他学識経験を有する者 3名